

小規模多機能型居宅介護まこと 運営推進会議 議事録

平成 28 年 5 月 25 日 (水)

14 時～15 時

小規模多機能型居宅介護まこと 2 階

司会 西崎・柴田

書記 石井

参加者

- ・西村 ミヨイ様 (民生委員)
- ・高橋 しのぶ様 (地域包括支援センター 職員)
- ・倉知 あゆみ様 (地域包括支援センター 職員)
- ・木田 孝志様 (小規模多機能まこと 家族)

1 挨拶

2 運営推進会議とは

3 事業運営報告

- ・ 3 月・4 月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 3 月・4 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様

4 意見交流

5 その他

- ・ グループホームまことより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ ボランティアの受け入れ
- ・ 今後の活動 等

(2) 事業運営報告

■ 3～4 月の介護度別サービス利用状況

(3 月 31 日・4 月 30 日付)

要介護	3月 小規模	4月 小規模	3月 グループホーム	4月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	0名	0名	0名	0名
要介護1	7名	7名	0名	1名
要介護2	9名	9名	1名	2名
要介護3	6名	6名	8名	6名
要介護4	2名	2名	4名	4名
要介護5	3名	3名	4名	4名
計	27名	27名	17名	17名

西 崎：特に変更はありません。

柴 田：3月に緊急搬送しそのまま入院となった方が、その時点で利用解約となっています。

4月には新規入居者も来られましたが、4月10日に他のGHへの転居の為1名利用解約となっています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

・3月1日 まこと工作～雛人形作り 13:30～14:30 13名参加

西 崎：内容としてはA4の紙で雛人形を作り、居室に飾ったり自宅へ持ち帰ったりしていました。

・3月11日 民謡鑑賞会（翔謡会） 12名参加

西 崎：スコップ三味線を披露してくれています。

・3月21日 春のお茶会（六花亭） 6名参加

・3月27日 春のお茶会（六花亭） 6名参加

西 崎：昭和の六花亭でケーキを食べてきました。帰りは新しく開通した外環道路を通り、遠回りをして帰ってきました。

・4月4日 お買い物ツアーin コープさっぽろ貝塚店 5名参加

・4月6日 お買い物ツアーin コープさっぽろ貝塚店 5名参加

西 崎：1人1000円くらいの予算で各自おやつなどを買って、帰る前に休憩所でお茶を飲み帰ってきました。外出レクとしてスタッフを多く配置していましたが、参加人数が少なかった事が反省点としてあげられています。

・4月12日 貼り絵工作「桜の花を咲かせよう」 12名参加

西 崎：シルバー作品展の展示するために、盛大な物を作っています。

・4月20日 道の駅 恋問館ドライブ 8名参加

西 崎：海を見て、アイスを食べ、海鮮物を見学し帰宅されています。4月はまだ寒かったようで、利用者様から「寒かった」という声があがっていました。

■ グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・ 3月 1日(火) ナルクボランティア
- 柴 田：毎月第 1 火曜日にはボランティア団体ナルクさんが来られ、紙芝居や体操、ゲームなどを利用者様と共に 1 時間半程行ってきています。
- ・ 3月 3日(木) ひな祭り・桃の節句のお祝い
 - ・ 3月 19日(木) 開設記念日～スライドショー
- 柴 田：開設記念として 1 年間撮りためた写真をスライドショーにして、思い出に浸りながら鑑賞しています。昼食は出前でお寿司をとり会食をしています。
- ・ 3月 22日(火) 誕生日のお祝い～貝塚コープ内蕎麦屋～
 - ・ 3月 25日(金) 料理作り～餃子～
- 柴 田：当事業所は女性の利用者様が多く、料理への参加も随時行っています。全員参加で餃子を包み、目の前のホットプレートで焼き昼食として食べています。
- ・ 4月 5日(火) ナルクボランティア
 - ・ 4月 11日(月) 誕生日のお祝い～竹老園～
 - ・ 4月 21日(木) 避難訓練
- 柴 田：今月は 4 月から新人職員が入った事により、再確認も含めて中堅職員・新人共に時間を測って実施しています。
- ・ 4月 25日(月) GH まこと運動会
- 柴 田：半年に 1 回 GH まこと運動会と称しまして全利用者様対象とし、車いすから降りることなく座ったままで出来る活動を多く取り入れて行っています。
他にも日常の家事の手伝いや体操・レクリエーション、シルバー作品展へ向けて作品作りなども随時行っています。

■利用者ご家族からの声

小規模

- * また夫婦二人で外出が出来ると思いませんでした。いつも楽しい行事を考えてくれてありがとうございます。(M.U 様 家族より)
- 西 崎：奥様からの言葉です。現在は夫婦二人で過ごしているのですが、前は他の小規模におりましたが、当事業所のアシストリビングへ移られてきました。始めは 24 時間車いすで自走し移動が上手に行っていました。暖かくなったら自宅に戻るという事で、4 月にはアシストを解約し小規模まことに週 5 回来られ自宅にて生活されています。奥様は事故で両足を複雑骨折し歩けないのではないかと言われていましたが、ここで生活していくうちに自宅では歩いて、まことに来る際は車いすで来られています。恋問ドライブにも夫婦で参加され、そのときのこの言葉を頂きました。
- * 病院の先生のご協力もあって、どのような形でも現在の父は小規模多機能に馴染んでいる様子なので、遠方の家族としては安心しております。今後、母が入居している GH やよいへの入居は空き状況を踏まえながら検討していきたいです。

(E.O 様 ご家族様より)

西 崎：前回意見交流の場で報告した方で、精神科にて薬調整を行い他者への暴力行為も消失し小規模に馴染んでいました。しかしその反面活動性が低下し ADL も下がり、起き上がりも介助しています。浮腫もみられ受診時に肺に水が溜まっていること、低アルブミン血症という病気で入院されています。肺の水も消失し低アルブミン血症も良くなったということですが、浮腫がまだあり Dr からは医療的処置はもう必要ないという事で、6 月 1 日に退院予定です。家族様としては医療度が高くなってきた事もあり、療養型の病院か GH にするか家族様と相談中です。

* 契約時では私用のため、今年の 5 月 31 日で利用解約と考えておりましたが、せっかく職員の皆さんとも良い縁が出きたので、小規模さんが良ければ解約の件は無くして、このまま利用をして行きます。今後ともよろしく願いいたします。

(T.O 様 本人様より)

西 崎：この方の身寄りの方は姪様だけで、要介護 1 はついています但し支援と変わらない生活をされている方です。耳が難聴である事以外は自立されています。不定期でまことに通いで来られたり、訪問に行き風呂場・トイレの掃除全般でサービスを利用されています。5 月 31 日で利用解約と始めはなっていました但し、まことさんが良ければこのまま利用させて頂きたいという話になりました。

グループホーム

* 一番大変な時に看てもらって、ご迷惑をお掛けしました。貝塚から離れた方が本人の為だし、私の家に (KP 宅) 近い方が、会いに行きやすいからね。お世話になりました。

(Y 様 ご家族様より)

柴 田：一昨年 11 月に入居された貝塚地区に 1 人で生活されていた方です。一緒に暮らしていた長女様が亡くなり、そのあとお世話してくれていた四女様も亡くなりました。その後は次女様・三女様にみて頂いておりました。家がまことから 4 件程しか離れておらず、「なぜ自分が見覚えのある地区にいるのに自宅に帰れないんだ」と慣れるまで暴れていました。GH のドアも力づくで壊してしまうくらい、病院でも羽交い絞めで押さえつけられるようくらい大変な時期もありました。徐々に認知症が進行していき場に馴染めるようになり、落ち着いて生活していました。しかし、4 月 3 日に家族様から「4 月 10 日には退去したい」という連絡が来ました。内容としては貝塚の GH から次女様が居る白糠に近い星が浦の GH に空きができたから転居をさせたいと話がありました。寂しい気持ちもありましたが、次女様が面会に多く行って下さるとい話も聞いていたので安心かなと思ひ退去に至っております。現時点の向こうでの生活ぶりは場所が変わった事については本人は自覚がないようです。家ではない事はわかっている様子でした。自分の世話をしてくれる人が見覚えのない人達だけ、きっと新しく入ってきた人なんだろうなという捉え方を

していたようで、新しい生活にも馴染めているとの事でした。

- * (旭川の娘様より)母が笑顔で元気に暮らしているので安心しました。でも、私たちが想像している以上に出来ない事が増えていたんですね。(M様 ご家族様より)

柴田：この方はまことに入居する前は在宅独居でしたが、隣には長男夫妻が暮らしていました。長男の嫁様が朝と昼にはお弁当を作り自宅に届け、夜は惣菜で済ませていました。日中はデイサービスを週3回利用していました。娘様によると近隣にいるのは長男夫婦だったので、だんだん下の世話が出来なくなっている事を伝えられず隠すように生活していました。娘様は下の世話が出来なくなっている事に会いに来る事で把握していましたが、息子様は入居するまで気づかれていませんでした。娘様にはGHに入居してから24時間関わり合う中で、評価をして報告をしました。「自分達が会いに来たときは出来るような素振りをしていたけど、日常で生活している中では出来ない事が増えていたんですね」と驚かれていました。本人の「GHにはまだ入りたくない」という気持ちを押し切って今回入居になり、娘様は「今の時期にGHに入れて良かった」と言われていました。旭川から夜行バスで来られている為、一日中お母様と過ごされています。昼と夕食は事業所で同じものを一緒に食べて頂いています。

- * なかなか来られずすみません。孫の世話や庭の畑の事とか、仕事で忙しくて。GHからUがかった事もスマホが分からなくて気付きませんでした。(H様 ご家族様より)

柴田：4月から原因不明の38度以上の熱が定期的に出ています、その都度電話連絡していました。しかし、連絡が取れず折り返しありませんでした。熱が出ている事に本人は自覚症状がなく、熱を測ろうとすると「なんで測るんだ」と腕を振り回し怒っていました。身体の変化について家族様へ相談をと思って連絡をするんですが出られず、その後発熱が2回あり4回目の発熱があった際には親戚中に電話をかけ、やっとお孫様に繋がりました。直接KPに連絡してもらえるよう依頼し、その後すぐに連絡が来ました。その時点では熱が38.2まで上がっていたため、掛かりつけの労災病院に連絡を取ってもらい受診に至りました。病院に着いた頃には39度以上になっていました、肺炎という結果で緊急入院となりました。今までは熱が下がってから受診する事があり特変ないという結果で帰ってきていましたが、元々持っていた肺癌も進行し、そこからきている肺炎じゃないかという診断結果が出ています。病院の方から退院時に家族様に病状説明をしているんですが、医療用語が多用されていたようで家族様はあまり理解が出来ずGHに戻られて来ました。サマリーの内容を確認すると「治療の段階ではないため、余生をお過ごし下さい」と記載されていましたが、家族様はそのようには捉えておらず、改めて内容を説明すると驚かれていました。以前看取りを行い相手が労災病院だった際、始めは受け入れるとお話を頂いていましたが、いざ最終段階になった時に受け入れ拒否をされてしまった事がありました。その方は救急車の中で市内を

回り、救急車の中で亡くなりました。その1件で労災病院との看取りに弱腰になっている経緯があり、次回受診が6月6日にあるのでホーム側も同席させて頂き、直接医師と話をさせて頂こうと思っています。

* お母さんこんなに痩せちゃって。食べさせてもらってるの？そして、ここはなんて酷い部屋なの。 (K様 ご家族様より)

柴田：この言葉は札幌の娘様からです。始めはKPの四男様から「電話も手紙も本人に取り次がないで下さい」と言われておりました。娘様の方は他の親戚から話を聞きGHに電話を掛けてきていましたが「今は電話を取り次ぐ事が難しいと息子様からお話を頂いています」と話をしていました。しかし、4月に面会に来られた時に入居後体重は変わってないのですが「こんなに痩せちゃって、部屋もひどい」と話しをされておりました。娘様は居室内でたばこを吸われたり、職員を怒鳴ることがあり、息子様に連絡したんですが「姉さんとは関わりたくないんだ」とホーム側が怒られてしまい、その日は一旦帰られ次の日に来られました。息子様からは「責任もたないから、札幌の姉さんと外出させてもいいよ」と返答あり、娘様と一緒に外出しています。その日は食事を摂って何事もなく帰宅されています。しかし、「夏物の服持ってきたから」と段ボールを玄関先でおいて帰られてしまいました。中身を確認すると惣菜やお菓子・ジュースが入っていきまして、息子様に電話をすると「もういい加減にしてくれ」とGHが板挟みのようになってしまいました。後日四男様にGHへ来て頂きお話をさせて頂きました。他の利用者様がいる前で職員を怒鳴りつける事に関してや、居室内での喫煙、生モノの持ち込みについて注意させて頂き、これらが度を越すようであれば継続して見ていくのは難しいという話をしました。1週間後には「僕らは手をあげたから、札幌の姉さんの所に帰すから。だから6月12日には退去します」と話がありました。この方はGHまことで5件目で他の4件も札幌の娘様が事業所にずっと居座っていたり、事業所の電話を約2時間使用し長電話をしたりしていたとの事でした。

倉知様：ずっと釧路ですか？

柴田：いえ始めは札幌にいらっしゃいました。その時も札幌の娘様が引き取ると言って一緒に暮らしたら怒鳴り合いで、お母様が逃げて警察に保護され仙鳳趾の四男様に連絡が行き、札幌に引き取りに行き釧路に戻ってきました。

倉知様：年金の方ですか？

柴田：いえ、生活保護の方です。

倉知様：お母様が好きなんですよね。でも関わり方が正しいのかというと難しいですけど…

柴田：そうなんですよね。これ以上は中に入ることは難しいと判断しました。

■3月・4月の事故報告について

	小規模 3月	小規模 4月	GH 3月	GH 4月
アクシデント	0件	0件	0件	0件
インシデント	1件	5件	1件	4件
ヒヤリハット	3件	2件	1件	7件

西 崎：インシデントはズリ落ちや座り込み、食前薬の服用遅れがありました。職員のミスもあり、風呂上がりに足をドライヤーで乾かす際に温風で距離も近く低温火傷になりかけた事がありました。ヒヤリハットは薬のセットミス、バルーンのねじれです。

柴 田：インシデントの内容は下剤が頓服扱いで処方されており、事業所調整薬として医師から話を受けていました。大抵3日間排便がない場合は頓服を付けるようになっていましたが、申し送りの排便カウントミスで2日しか空いていないのに服用してしまったり、4日間出していないのに服用しなかった件が挙げられています。ヒヤリハットではトイレ内での膝折れ、転倒には繋がりませんが危険回避としてあげています。

■ 地域包括支援センター様からの声

倉知様：2回欠席してしまい申し訳ありません。担当変更となりまして、次回からは高橋共々参加させて頂く事になります。今後ともよろしく申し上げます。本日は案内を2つ紹介させて頂きます。地域交流カフェという事で集いの場を作ろうという目論見で、小さいタイプのデイサービスなど事業所を使ったカフェです。武佐の地域に憩い会館があり、土曜日に行われています。子供からお年寄り、認知症の方でも交流できる場をと設けました。音楽療法の先生も来られ座りながら出来るような体操を行います。もう一つは法人内の冊子で東部北包括支援センターの所長が書きました文面があり紹介させて頂きます。包括支援センターってどういうものかを記載されていますので、お時間があるときにご覧ください。

高橋様：包括に来たばかりで慣れないですが、気軽に相談できるような職員になりたいと思っていますので、よろしく申し上げます。以前は道外で保健師をしていました。GHも一緒に認知症サポーターの養成講座をしたり、GH職員と一緒に地域の方々に認知症の事を知ってGHの事や災害の時も地域の中で一緒に支え合ってやっていきたいと思いますという事で、こちらでもそのような事をやっていきたいと思っています。一つ薬のインシデントやヒヤリハットをゼロにする事は難しいと思いますが、信頼できる施設になるためにも来月以降薬に関してはなくなってほしいと思います。そのための工夫は何かをご検討頂けたらと思います。

4 意見交流

とある利用者と家族の関係性について

柴 田：GHに入居されたばかりの方です。以前は在宅独居要介護1で、自分でわからなくなる事が増えてきている方です。機能的には全て自立でも良い方ですが見当識や記憶障害、実行機能障害が強くなりわからなくなる事が多くなっていき、常に不安を訴えていました。食事が食べられなくなってきた事で市内の内科にかかっていたのですが「食べられなくなったのは認知症のためではないですか？」と言われ、星が浦病院の認知症疾患センターを受診し「アルツハイマー型認知症」と診断されGHへ入居という運びになりました。しかし、現在入居してから1ヵ月しか経っていませんが、食事が摂れず毎食1割か0で自宅にいる際もバナナ1本・焼き芋半分を一日かけて食べる程度だったそうです。家族様が栄養を気にして補助食品のメイバランスを家に大量に準備し、喉が渴いたら水ではなくメイバランスを飲む生活をされていました。GHに入って何日間は一緒に食べていましたが、だんだん食事が摂れない、メイバランスも飲めない、水分も入っていかなくなっていました。本人に理由を聞くと「トイレがわからなくなる」と答えていましたが、第三者から見たら何一つ出来なくなっている事はないんです。しかし本人は「わからなくなるから嫌だ」と話し、トイレに行かないようにご飯も食べず水も飲まないようです。星が浦病院では認知症のフォローをするという話を頂いていまして、相談させてもらったのですが7月後半ではないと難しいという事でした。便が17日間出ていなく、浣腸を掛けても便汁と少量しか出ませんでした。食事を嫌がる・排便がない・水分も取れない・本人の不定愁訴が強くなる・糖尿も持っていますが、投薬管理も1回だけで現在済んでいます。

高橋様：低血糖にはなっていないのですか？

柴 田：なってないです。他の方も低血糖になりやすい方もいるので、気を付けてみています。

高橋様：薬は出ているんですか？

柴 田：薬も出ていますが、内科の先生は「食べられないのは認知症のせいだ」という見解で本日相談に行ったんですが、「私は認知症があまりわからないから」と言われてしまいました。「とりあえず内科の問題か診てみますね」と何も改善されないままエンシュアが処方される訳でもなく、他の医療機関の紹介もありませんでした。心配ならと釧路脳外の受診を勧められて行くと、星が浦病院があるのでどうして来たのかと言われてしまいました。家族様は動いてくれる方なのですが、主治医の采配の振り方によって振り回されてしまうんです。原因も分からず、このままで過ごせば、食事が摂れない日数も排便がない日数も長くなってしまいます。

高橋様：糖尿の薬は食べられなくても、服用の指示が出ていたんですか？

柴 田：止められています。とりあえず、本人が食べれそうなバナナを用意し本人に勧めているんですが食べてもらえません。麦茶などの水分もまったく飲んでもらえず、悩んでいます。

西村様：たらい回しですもんね。

柴 田：そうですね。家族様も言われたところ（病院）に行っているのにも関わらず、「どうしてここに来た？」と言われ困っています。

高橋様：採血や検尿はしていますか？

柴 田：そこまではわかりませんが、6月1日 CT を撮る事にはなりました。

高橋様：腹部・脳どっちですか？

柴 田：便が出ていないので腹部と思います。

高橋様：ガスや音はどうですか？

柴 田：ガスはないですが、音は看護師から報告が来ています。本人は「うんちが出ないから食べない」と言っているんです。「食べたり飲んだりしないと出ないんですよ」と言うんですが、頭では理解できているようですが本人は食べたくないんです。

倉知様：浣腸の際に拒否はしなかったですか？

柴 田：拒否してはまして、説得に1時間半かかりましたが実施できました。食事に関しては家族様を呼んで実際に様子を見てもらいました。家族様は「なんで食べないの？」と声を荒げる始末です。

高橋様：体重・身長はどのくらいですか？

柴 田：身長は152 cmくらいだと思います。体重は40 kgだと思います。元々はふっくらしていたようですが、星が浦に入院した時には既に食べず、一気に体重が落ちたそうです。痩せた事により義歯も合わなくなっています。

高橋様：口の中の問題もあるかもしれないという事ですね。

柴 田：はい。家族様に義歯調整の依頼を掛けてはまして、本人もカバカパする義歯を気にして鼻をほじっているようにも見えるんですが、義歯の先端を気にしてずっと触っているんです。

高橋様：口が痛いんですね。胃も小さくなっているかもしれませんね。

柴 田：小さくなっていると思います。無理やり食べさせる訳にもいけませんし、今どうしたらいいのか悩んでいます。

高橋様：義歯を外して違和感を無くした状態で水分はどうなんでしょうか？

柴 田：義歯を外して口当たりの良いゼリーも試したのですが、口の中に入れるのを拒んでいました。

高橋様：本人にだけに言うと良く思われない事もあると思うんです。他の方も交えて「美味しいね」など声を掛けてみたら良いのではないのでしょうか。

柴 田：その方法も試してみました。一番心を許している利用者様に横に座ってもらい、その方に協力してもらい「美味しいね」と声を掛けてもらっています。

倉知様：トイレに行くのが不安だからと考えちゃうんでしょうね。

柴 田：スタッフもついて行くのでトイレの場所がわからない訳ではないんです。場所がわからない訳でもない、下げられない訳でもない、自分で拭けているんですが本人は納得出来ていないんだと思います。

高橋様：スタッフについて来てもらうのも不安なんですよ。

柴 田：ついて行かないと「私を一人にして」と不安になってしまうんです。ついて行くと「わからないから出来ない」と言っはいますが出来てはいるんです。

高橋様：トイレのタイミングは？

柴 田：トイレのタイミングは本人で失禁ありません。リビングと居室をウロウロしているんです。そのタイミングでトイレに行き、どうしようと困っている事があるんです。そのときに「一緒に洗濯物を干してくれますか？」と頼むと「私ばかりに頼んで」と不満を話していました。その次の日はスタッフがやってしまうと「何も頼んでくれなくなった」と話していました。頭の体操として毎日 7 並べをやっていますが、日によってバラバラで出来ない日は他の利用者様が教えてくれるんです。なので、関係性は良好です。放置されると不安になるみたいで、声をかけるなどしています。

高橋様：寂しさや不安感が強いようですね。便についてお薬は何が出ているんですか。

柴 田：薬は出ていないです。-17 になる前は出てはいたんですけど、原因として夜中に便をしてしまった事があるようです。「どうして夜にしてしまったの」と。

高橋様：便失禁をしたことないでしょうし、プライドが強い方なんですよ。

柴 田：今までは睡眠導入剤を飲んでいなかったのに、「寝る前にみんなが薬を飲んでいから私も」と病院にて自分で言ったそうです。処方されてから数日後に便失禁がありました。なのでショックだったと思います。すぐ家族様に相談し、様子を見に来てもらえるようお願いをしたところ、すぐ娘様は来てくれました。

高橋様：お腹が減るような運動などはしているんですか。

柴 田：午前・午後に体操をしています。午前中は体を動かすレクもしています。

高橋様：40kg 弱あれば心配する事はないと思いますが、これがどんどん減るようであれば大変だと思います。1 ヶ月に 3kg 近く減少したら病院に情報を添えて受診したほうがいいと思います。

柴 田：施設に入居する前に 7Kg 程落ちたようで、ホームに来てから変わりはないです。食事工夫して 1 口でもと勧めてはいます。

高橋様：足りないですよ。それでは動けないですよ。うがだけでも、脱水は予防できます。危ないときは何かしらサインがあると思います。

柴 田：ありがとうございます。

5 その他

- 今後の活動について
(小規模多機能)

5月4日 まこと工作 毛糸で鯉のぼりを作ろう！

5月16日、17日お花見ドライブ

5月26日 まことクッキング～桜色カステラを作ろう！

6月3日 アップルパイ&ミートパイを作ろう

6月22日 まこと大運動会

6月7日、29日 愛国浄水場見学

(グループホーム)

5月 ナルクボランティア～紙芝居、合唱、体操、塗り絵など～

5月11・12・18・19日 お花見ピクニック

母の日・父の日合同のお祝い

誕生会～外食でのお祝い～

フラダンス～ふわりにて～

柴 田：ホームには男性利用者様が二人しかいないので、母の日と合同でお祝いしています。今、ふわりさんではフラダンスの講師を呼んで講習を行っているようで、利用者様と一緒に参加しています。

6月 誕生会 鶴ヶ岱公園散策 外出レク フルート演奏会 日本舞踊
ボランティア等

次回開催予定日 平成28年7月20日(水)14時 小規模まこと2階リビングにて開催